





我々陰陽師の
占いによって
凶事の兆しが視^みえたり
穢れに触れた際

定められた期間
外出を控え
身を慎む事だ

星の動きを
知る事

それによって
あらゆる事柄
人の天命

森羅万象を
読み解くのだ

だがその分家で
ありながら

陰陽術の
才能に恵まれ
なかつた
私の父は

代々
優秀な陰陽師を
輩出してきた
安倍家

占い？



家の衰退を
恐れるあまり

ある鬼神と
ひとつの契約を
結んだ

「我が息子に
類稀なる
能力を
与え給え」

しかも
私自身の体と
引き替えに

お前も
『神』の端くれなら
それくらい知って
いるだろう

何度も説明
させるなよ
めんどくさい

…フン

その相手が
こいつ





けれど
私は

『恐ろしい力』

『まるで
鬼のよう』



スル...



...よせッ

身を慎むと
言っただろう

それは
お前の勝手だ
俺には関係ない

人々の畏怖
という

冷たい孤独の輪まで
欲しくはなかった



逆らわぬ方が
いいぞ

その能力を
失くしたく
なければな

もぞ..

ン...ッ

ひん..

...よせ...ッ

...って...

あ...

気のせい..
かもしれない
が.....

：嫌だ嫌だと
言いながら
慎みのない
身体よ

鬼神は

舐めて
やろうか？

い...ッ
要らぬ！

私が寂しさを
感じると必ず

こんなふうに
戯れてくるような

素直じや
ないな

まんざら
嫌いでも
なからうに

…ッき

嫌いだよ
お前なんて
…ッ

き

抱きしめられる
このぬくもり
だけ—

さ…

嫌いじゃない
…のは…

………

失礼致します

神流様

坂田道翁様…と
おっしゃる方が
お見えなのですが